

## 打楽器 アドバイザー



### 大塚 裕一

栃木県茂木町出身

栃木県立真岡高等学校卒業

宇都宮短期大学音楽科卒業

打楽器を加藤 博文、木村 達志の各氏に師事

東京国際和太鼓コンテスト 組太鼓部門 2位

オーケストラ、吹奏楽、プリティッシュプラス、アンサンブル、邦楽など様々なスタイルで演奏活動を行う。

コンテスト等の審査員も行い、後進の指導も積極的に行う。

現在、宇都宮短期大学音楽科・同附属高等学校音楽科講師

## 打楽器

あなたにとって打楽器とはどのような楽器でしょうか？

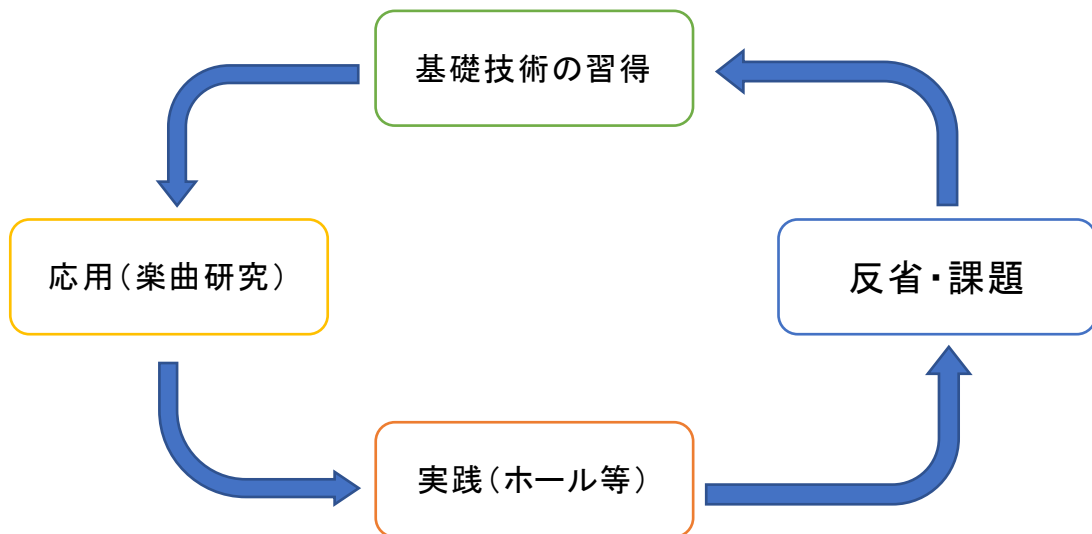
打楽器は楽器経験がなくても、簡単に音を奏でられる楽器です。

これはとても素晴らしいことです。

打楽器に興味を持ち演奏を試みた時、打楽器の多様性、奥深さを経験すると、打楽器は私たちにとても魅力的な楽器になっていきます。



## 練習において



楽器を演奏するにあたり、何かしらのかたちで演奏する場面が訪れることでしょう。

私たちはそこに向かい鍛錬をするのです。

練習をするときに気を付けなければならない点、それは練習のための練習ではないという事です。

常に演奏本番で良いパフォーマンスをするための準備であり、この準備は本番の演奏と同じ位に大切にしなければなりません。

自分としっかり向き合いながら、理想に向かい練習を積み重ねましょう。

## ホールにおいて

これまで鍛錬を重ねてきたものを存分に発揮して挑みましょう。

ホールにおいて今までと違う点は、一人ではないという点です。

聴き手がいて演奏は成り立つのです。

「聴き手との時間の共有」これこそが、音楽の目的であるのです。

そして指揮者や共演者、音響や照明などの舞台スタッフ等、多くの人との繋がりがホールにはあります。

その中で、私たちは新しい気付きに出会うことができます。

そして自らの課題と、次の演奏に挑むための活力を得る経験をする事ができるでしょう。

